

2020年度 第2四半期 京都ものづくり中小企業景況調査 報告書

<概況>

受注量については、大幅に悪化した前回調査と比べ、やや持ち直しの動きが見られるものの、「減少」もしくは「やや減少」と回答した企業の割合が全体の7割を超え、引き続き厳しい状況が続く。

今後の見通しについても、全ての業種でDIがマイナス値となり、受注量と同様、持ち直しの動きが見られるものの、受注量の悪化を見通す企業は過半数となっている。

また、資金繰りについては、「悪化」と回答した企業の割合が減少し、採算状況についても、一部の業種で「赤字」と回答した企業の割合は減少したものの、全体的に厳しい状況が続く。

受注余力については、前回調査同様8割以上の企業が「受注余力あり」と回答した。

<項目別の特徴>

- (1)受注量 : 大幅に悪化した前回調査と比べ、やや持ち直しの動きが見られる。
- (2)受注見通し : 持ち直しの動きが見られるものの、受注量の悪化を見通す企業は過半数となっている。
- (3)受注単価 : 全体的に大きな変化はなかった。
- (4)資金繰り : 「悪化」と回答した企業の割合が減少した。
- (5)採算状況 : 一部の業種で「赤字」と回答した企業の割合は減少したものの、全体的に厳しい状況が続く。
- (6)受注余力 : 「受注余力あり」とする企業が85.0%となった。
(「受注余力あり」企業が減少した＝プラス傾向)

<分析>

調査対象企業のうち52社に対して、訪問等により景況感についてのヒアリングを実施。

新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、ほぼ全ての業種で急激な悪化が見られた前回（4～6月）調査時と比較すると、「受注増」とする企業数は増加したものの、それらの企業の多くは、落ち込み時の売上を補填するまでには至らないとの回答であった。

自動車業界においては、一部の企業に持ち直しの動きがあるものの、依然として低調が続く企業が数多く見られ、各メーカーのサプライチェーンによって仕事量に差が生じている。また、その他業界でも同様に、コロナ禍による需要の減少は底を打ったとする意見と未だ受注が減少傾向にあるとの意見が混在しており、業界や扱う製品によって、持ち直しのタイミングに差が見られた。

他方、半導体産業関連の受注についても、一時の巣ごもり消費やリモートワークの拡大によるメモリ需要は一巡したとの声が多く、次世代通信規格「5G」の国内における本格的なサービス開始による好影響も限定的であった。

今後については、プラス要因とマイナス要因が見られるものの、コロナ禍の収束が不透明であることから、本格的な回復には時間を要すると予想される。

(注) 本報告書で使用するDIとはディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したとする企業の割合から「減少」・「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

調査対象期間 2020年7月～9月
(2020年9月末集計)

調査対象企業 300社 回答企業数 246社 (回答率 82.0%)

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業における受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300社

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	18社	② 金属製品関係	68社
③ 一般機器関係	85社	④ 電気機器関係	54社
⑤ 輸送用機器関係	18社	⑥ 精密機器関係	21社
⑦ 樹脂製品関係	36社		

(3) 調査時点

2020年9月末日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

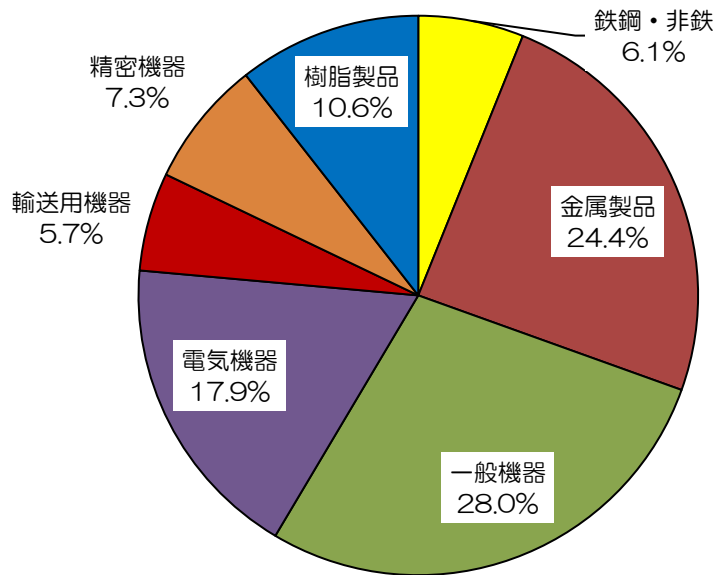
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）
※一部企業へはヒアリング調査を実施

(5) 回答状況

① 調査対象企業数	300社		
② 回答企業	246社		
③ 内訳			
鉄鋼・非鉄関係	15社	(6.1%)	
金属製品関係	60社	(24.4%)	
一般機器関係	69社	(28.0%)	
電気機器関係	44社	(17.9%)	
輸送用機器関係	14社	(5.7%)	
精密機器関係	18社	(7.3%)	
樹脂製品関係	26社	(10.6%)	
④ 回答率	82.0%	[前回：84.7%]	

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
個人	4 1.6%				1 2.3%			3 11.5%
~300万円	17 6.9%		4 6.7%	3 4.3%	4 9.1%	2 14.3%	2 11.1%	2 7.7%
301~999万円	10 4.1%		3 5.0%	4 5.8%		1 7.1%		2 7.7%
1000~2000万円	143 58.1%	7 46.7%	38 63.3%	44 63.8%	27 61.4%	3 21.4%	11 61.1%	13 50.0%
2001~5000万円	53 21.5%	5 33.3%	14 23.3%	15 21.7%	9 20.5%	2 14.3%	3 16.7%	5 19.2%
5000万円超	19 7.7%	3 20.0%	1 1.7%	3 4.3%	3 6.8%	6 42.9%	2 11.1%	1 3.8%
合 計	246 100%	15 100%	60 100%	69 100%	44 100%	14 100%	18 100%	26 100%

(3) 業種別・従業員別回答企業数

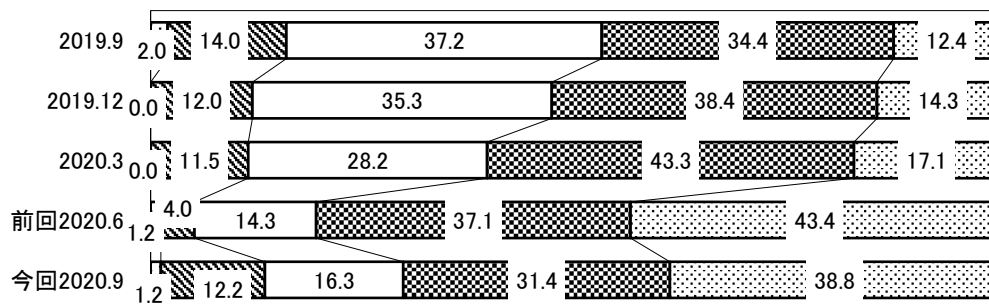
(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
1~5人	17 6.9%	2 13.3%	3 5.0%	6 8.7%	3 6.8%			3 11.5%
6~10人	28 11.4%	2 13.3%	4 6.7%	11 15.9%	3 6.8%	3 21.4%	4 22.2%	1 3.8%
11~20人	70 28.5%	3 20.0%	18 30.0%	23 33.3%	11 25.0%	1 7.1%	5 27.8%	9 34.6%
21~30人	35 14.2%	3 20.0%	12 20.0%	10 14.5%	4 9.1%	1 7.1%	1 5.6%	4 15.4%
31~50人	44 17.9%	3 20.0%	10 16.7%	9 13.0%	11 25.0%	4 28.6%	3 16.7%	4 15.4%
51人以上	52 21.1%	2 13.3%	13 21.7%	10 14.5%	12 27.3%	5 35.7%	5 27.8%	5 19.2%
合 計	246 100%	15 100%	60 100%	69 100%	44 100%	14 100%	18 100%	26 100%

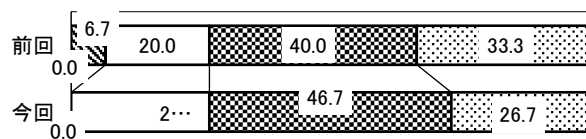
3. 調査結果

(1) 受注量について

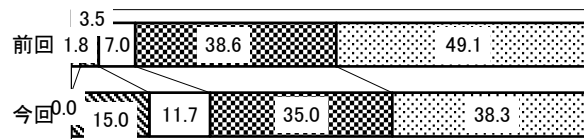
①全体 (251社) □増加 ■やや増加 □不変 ■やや減少 □減少 (%)



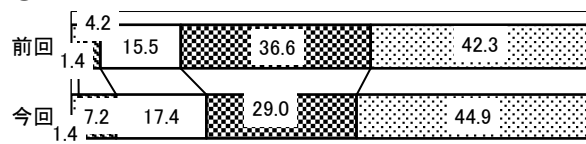
②鉄鋼・非鉄 (15社)



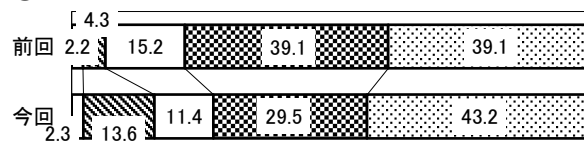
③金属製品 (57社)



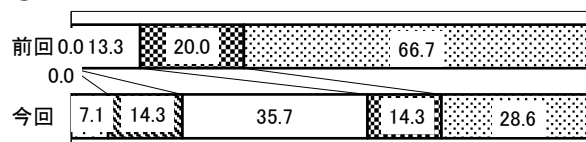
④一般機器 (71社)



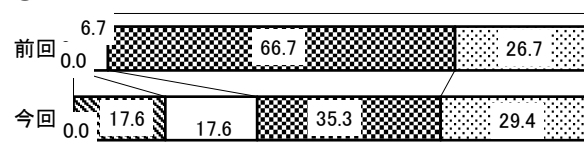
⑤電気機器 (46社)



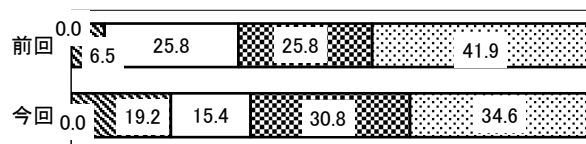
⑥輸送用機器 (15社)



⑦精密機器 (16社)



⑧樹脂製品 (31社)



○全体

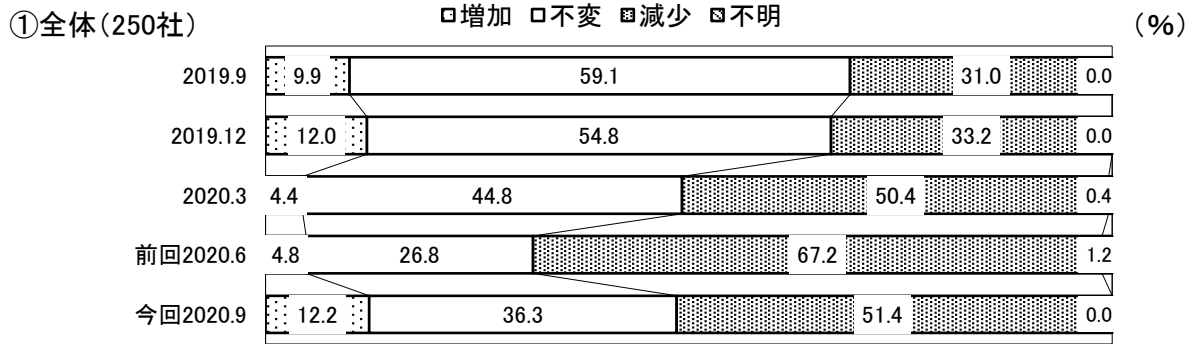
・7月～9月期の受注量の業況判断D I（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲56.8となり、前期（4月～6月期）のD I値▲75.3と比べ18.5ポイント上昇し、大幅に悪化した前回調査と比べ、やや持ち直しの動きが見られる。

○業種別

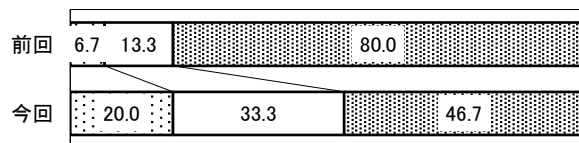
・D I値は、輸送用機器（▲21.5）、樹脂製品（▲46.2）、精密機器（▲47.1）、電気機器（▲56.8）、金属製品（▲58.3）、一般機器（▲65.3）、鉄鋼・非鉄（▲73.4）と7業種全てでマイナスとなった。

・D I値を前期と比較すると、輸送用機器（65.2ポイント）、精密機器（46.3ポイント）、金属製品（24.1ポイント）、樹脂製品（15.0ポイント）、電気機器（14.9ポイント）、一般機器（8.0ポイント）の6業種で上昇。鉄鋼・非鉄（▲6.8ポイント）の1業種のみ低下している。

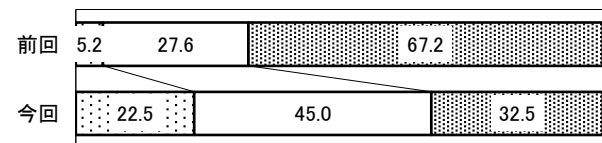
(2) 受注量の見通しについて (3ヶ月先について調査)



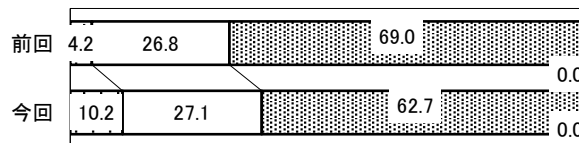
②鉄鋼・非鉄(15社)



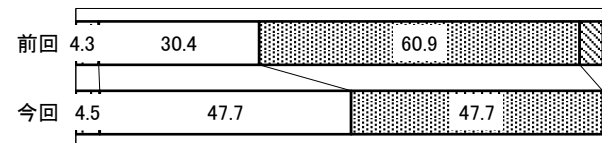
③金属製品(58社)



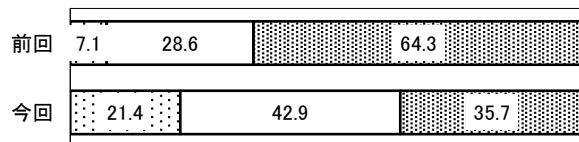
④一般機器(71社)



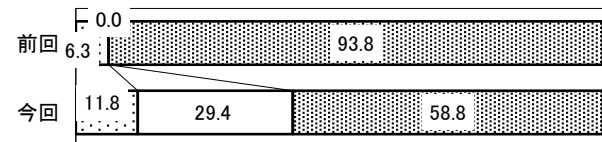
⑤電気機器(46社)



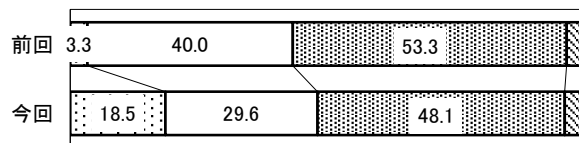
⑥輸送用機器(14社)



⑦精密機器(16社)



⑧樹脂製品(30社)



○全体

・次期(10月~12月期)の受注量見通しの業況判断D I (「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は▲39.2となり、前期(4月~6月期)調査時のD I 値▲62.4と比べ23.2ポイント上昇し、前回調査と比べ、持ち直しの動きが見られるものの、受注量の悪化を見通す企業は過半数となっている。

○業種別

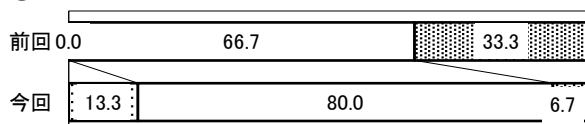
・D I 値は、金属製品(▲10.0)、輸送用機器(▲14.3)、鉄鋼・非鉄(▲26.7)、樹脂製品(▲29.6)、電気機器(▲43.2)、精密機器(▲47.0)一般機器(▲52.5)と、7業種全てでマイナスとなった。

・D I 値を前期と比較すると、金属製品(52.0ポイント)、鉄鋼・非鉄(46.6ポイント)、輸送用機器(42.9ポイント)、精密機器(40.5ポイント)、樹脂製品(20.4ポイント)、電気機器(13.4ポイント)、一般機器(12.3ポイント)と7業種全てで上昇している。

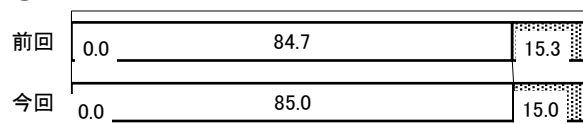
(3) 受注単価について



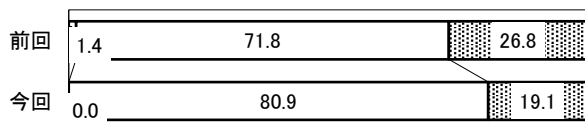
②鉄鋼・非鉄(15社)



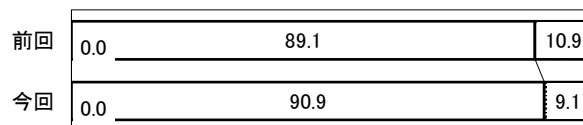
③金属製品(59社)



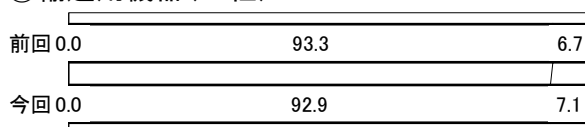
④一般機器(71社)



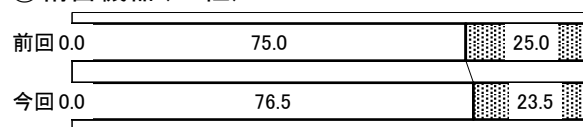
⑤電気機器(46社)



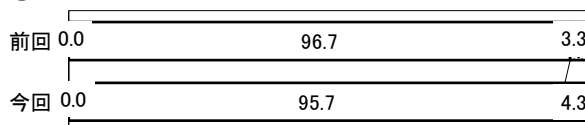
⑥輸送用機器(15社)



⑦精密機器(16社)



⑧樹脂製品(30社)



○全体

・7月～9月期の受注単価の業況判断D I (「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は▲14.1となり、前期(4月～6月期)のD I値▲17.1と比べて3.0ポイント上昇と、全体的に大きな変化はなかった。

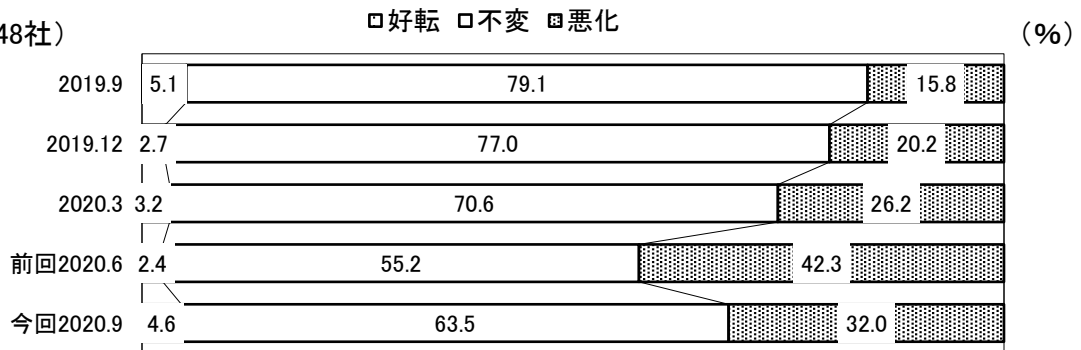
○業種別

・D I値は、鉄鋼・非鉄(6.6)の1業種のみ上昇。樹脂製品(▲4.3)、輸送用機器(▲7.1)、電気機器(▲9.1)、金属製品(▲15.0)、一般機器(▲19.1)、精密機器(▲23.5)の6業種でマイナスとなった。

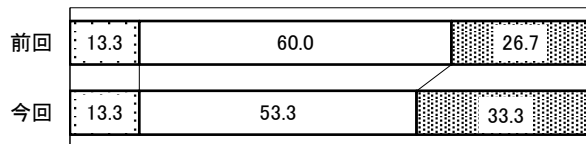
・D I値を前期と比較すると、鉄鋼・非鉄(39.9ポイント)、一般機器(6.3ポイント)、電気機器(1.8ポイント)、精密機器(1.5ポイント)、金属製品(0.3ポイント)の5業種で上昇。輸送用機器(▲0.4ポイント)、樹脂製品(▲1.0ポイント)の2業種で低下している。

(4) 資金繰りについて

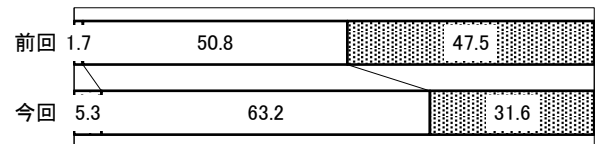
①全体(248社)



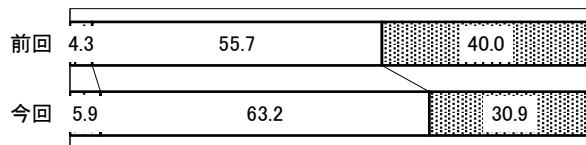
②鉄鋼・非鉄(15社)



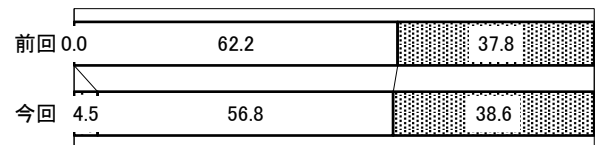
③金属製品(59社)



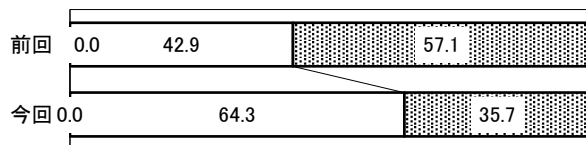
④一般機器(70社)



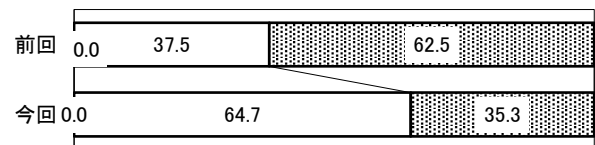
⑤電気機器(45社)



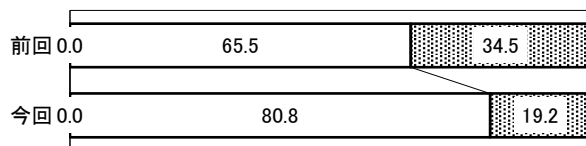
⑥輸送用機器(14社)



⑦精密機器(16社)



⑧樹脂製品(29社)



○全体

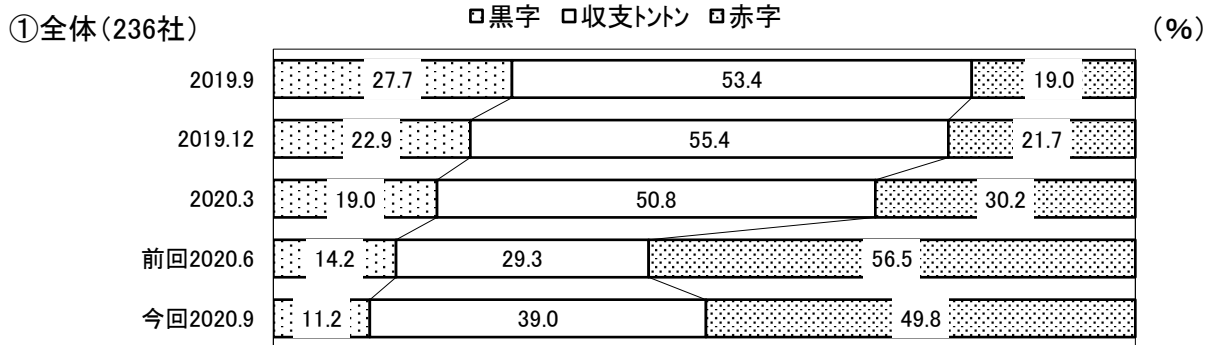
・7月～9月期の資金繰りの業況判断D I (「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は▲27.4となり、前期(4月～6月期)のD I値▲39.9と比べて12.5ポイント上昇と、「悪化」と回答した企業の割合が減少した。

○業種別

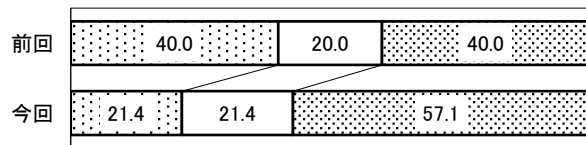
・D I値は、樹脂製品(▲19.2)、鉄鋼・非鉄(▲20.0)、一般機器(▲25.0)、金属製品(▲26.3)、電気機器(▲34.1)、精密機器(▲35.3)、輸送用機器(▲35.7)と7業種全てでマイナスとなった。

・D I値を前期と比較すると、精密機器(27.2ポイント)、輸送用機器(21.4ポイント)、金属製品(19.5ポイント)、樹脂製品(15.3ポイント)、一般機器10.7ポイント、電気機器(3.7ポイント)の6業種で上昇。鉄鋼・非鉄(▲6.6ポイント)の1業種のみ低下している。

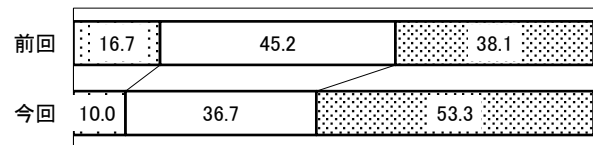
(5) 採算状況について



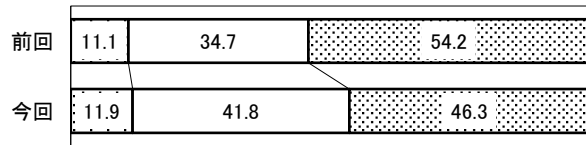
②鉄鋼・非鉄(15社)



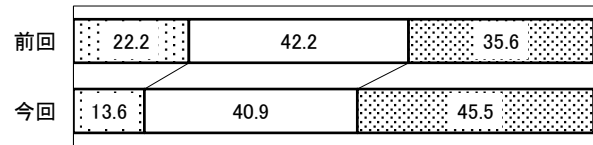
③金属製品(42社)



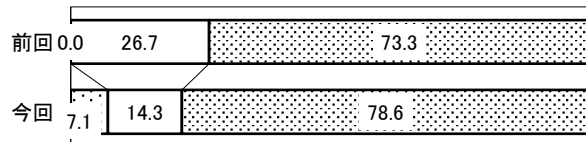
④一般機器(72社)



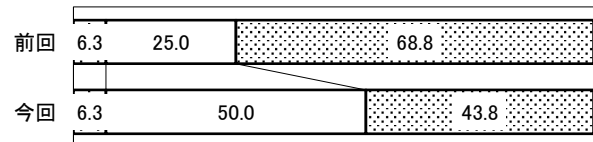
⑤電気機器(45社)



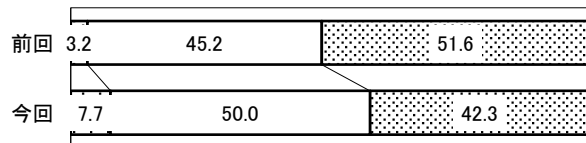
⑥輸送用機器(15社)



⑦精密機器(16社)



⑧樹脂製品(31社)



○全体

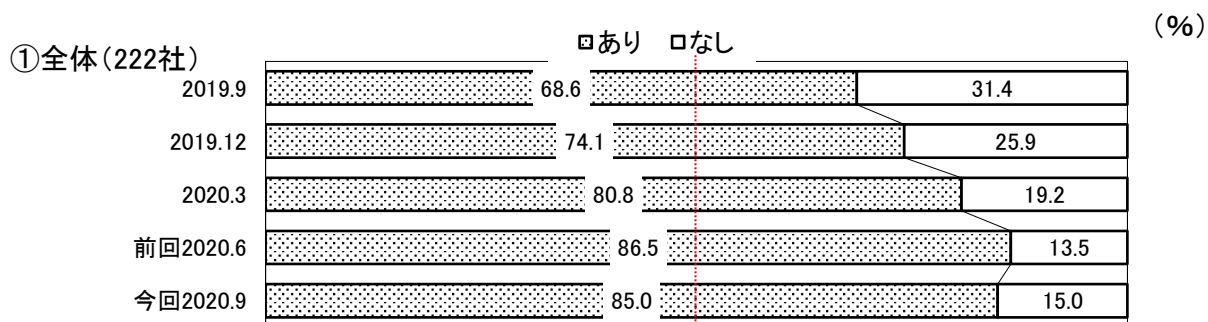
・7月～9月期の採算状況の業況判断D I（「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲38.6となり、前期（4月～6月期）のD I値▲42.3と比べ3.7ポイント上昇し、一部の業種で「赤字」と回答した企業の割合は減少したものの、全体的に厳しい状況が続く。

○業種別

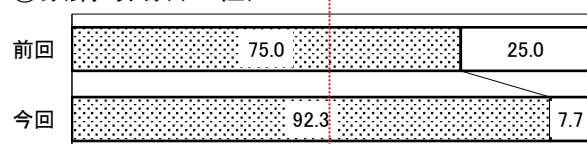
・D I値は、電気機器（▲31.9）、一般機器（▲34.4）、樹脂製品（▲34.6）、鉄鋼・非鉄（▲35.7）、精密機器（▲37.5）、金属製品（▲43.3）、輸送用機器（▲71.5）と7業種全てでマイナスとなった。

・D I値を前期と比較すると、精密機器（25.0ポイント）、樹脂製品（13.8ポイント）、一般機器（8.7ポイント）、輸送用機器（1.8ポイント）の4業種で上昇。電気機器（▲18.5ポイント）、金属製品（▲21.9ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲35.7ポイント）の3業種で低下している。

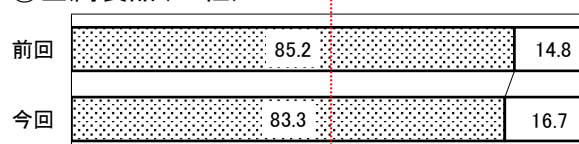
(6) 受注余力について



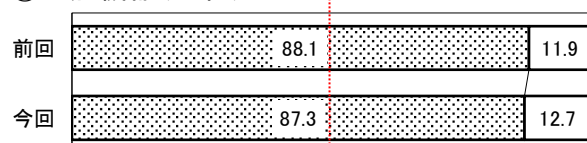
②鉄鋼・非鉄(22社)



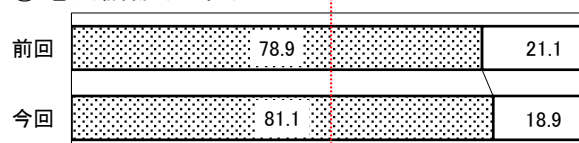
③金属製品(54社)



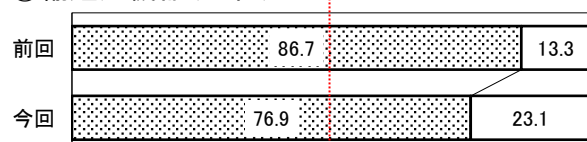
④一般機器(59社)



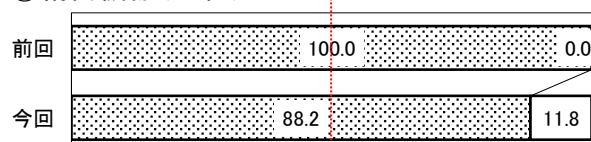
⑤電気機器(38社)



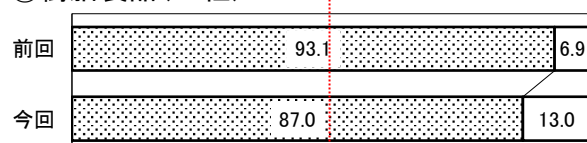
⑥輸送用機器(15社)



⑦精密機器(15社)



⑧樹脂製品(29社)



○全体

・7月～9月期の受注余力の業況判断D I (「受注余力あり」と回答した企業の割合から「受注余力なし」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は70.0となり、前期(4月～6月期)のD I値73.0と比べ3.0ポイント低下した。

(「受注余力あり」企業が減少した＝プラス傾向)

・7月～9月期は「受注余力あり」とする企業が85.0%と、前期と比較して1.5ポイントの低下となった。

○業種別

・D I値は、鉄鋼・非鉄(84.6)、精密機器(76.4)、一般機器(74.6)、樹脂製品(74.0)、金属製品(66.6)、電気機器(62.2)、輸送用機器(53.8)の7業種全てで「受注余力あり」が「受注余力なし」を上回っている。

・D I値を前期と比較すると、鉄鋼・非鉄(34.6ポイント)、電気機器(4.4ポイント)の2業種で前回比プラスとなり、「受注余力あり」と回答した企業の割合が増加。一般機器(▲1.6ポイント)、金属製品(▲3.8ポイント)、樹脂製品(▲12.2ポイント)、輸送用機器(▲19.6ポイント)、精密機器(▲23.6ポイント)の5業種で前回比マイナスとなり、「受注余力あり」と回答した企業の割合が減少している。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-8590 FAX (075) 323-5211

E-mail: market@ki21.jp

U R L : http://www.ki21.jp